

定時総会は9月23日京都ホテルオーラで開催 午前10時30分受付、河原町御池

同志社大学 商学部 樹徳会報

講師は元京都市副市長高木壽一氏



問・理事の高木

壽一氏(昭和39年、同志社大学経済学部卒)II

写真IIを迎える

「ひじだけの話」

と題した意味

深長な演題?で

内側から見た地

方政治の「ひじだけの話」を聞く。

総会は午前十一時から南

から副市長に就任、五年間

務めた。退任後は、同志社

大学のESSで培った語学

力などを評価され、京都市

国際交流会館館長、世界歴

中都市連盟事務局長として

講師を務めたほど。今回の

講演も演題に、そんなグロ

ーバルな話題をも織り込ん

だエピソードが聞かれるも

のと、早くも注目を集めて

いる。

総会はこの講演の後、休憩を挟んで樹徳会の正木忠

入り、参加者らは各テーブ

ルに並んだ数々の料理を味わいながら、旧友との積もる懐旧談に花を咲かせ、また名刺を交換するなど、つるつるしたようにならざりしが、お互いに落ち着いて、長い航海を終えた船が、イカリを降ろしたように落ち着いた雰囲気。会は毎月一回例会を開いて、互いに話し合い、楽しんで

いる。

そのと、早くも注目を集めて

いる。

午前十一時から午後三時まで、京都市中京区河原町御池の京都ホテルオーラを会場に賑々しく開かれる。

毎年話題を呼ぶ講演の講師には元京都市副市長で現在、京都市国際交流会館顧問

から参加者多数が集

い、九月二十三日(日曜日)

午前十一時から午後三時ま

での日程で、京都市中京区河原町御池の京都ホテルオーラを会場に賑々しく開かれる。

全国から参加者多数が集

い、九月二十三日(日曜日)

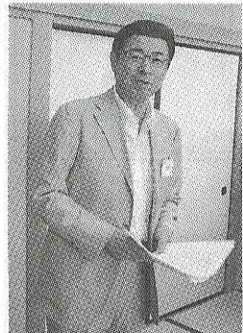
午前十一時から午後

同志社大学商学部樹德会
福岡支部の平成二十四年度
総会及び懇親会が七月二十
日夕、福岡市博多区中洲
の吉塚うなぎ屋で開かれ
た。会員らを含め二十三人
と来賓の坂光司樹徳会理事
長、南美樹副理事長、それ
に校友会・野中隆臣副支部
長らが出席。

有川勝彦支部長のあいさ
つに続き、前年度の収支決
算報告を承認した後、役員
改選の議題に移り、新支部
長に中村隆義氏（昭和56年
卒、株式会社「福輪」取締
代表）を選出した。中村
新支部長は「歴代の諸先輩
と一緒になって福岡支部を
盛り上げていきた」と抱
負を述べた。

この後、来賓の坂理事長
らが改革進む大学の現状、
同志社校友会と大学との連
携を語りつつ「これからも
大学はもちろん校友会など
諸団体と協力をしながら樹
徳会の役割を果たしていく
たい」と述べ、あいさつと
した。

懇親会に入り、岩井美廣



④新支部長の中村隆義氏
⑤和やかに福岡支部総会



和やかな雰囲気の総会・懇　出席者は次の通り（敬

福岡支部総会

参加者は、地元を中心には活躍するピアニスト丸山晶子さんの「絆」をテーマにした演奏曲「愛の夢」(リスト)などのオペニングコンサートに耳を傾けた後、榎原輝重専任幹事(平成6年卒)の司会で総合会に入った。

参加者は、地元を中心には活躍するピアニスト丸山晶子さんの「絆」をテーマにした演奏曲「愛の夢」(リスト)などのオペニングコンサートに耳を傾けた後、榎原輝重専任幹事(平成6年卒)の司会で総合会に入った。

語りかけた。来賓の商学部
鵜飼哲天先生が現在進行中



左保阪正康氏の講演
下にぎわう東海支部総会



「八重と新島襄」の講演

保阪正康氏が

の今出川・烏丸西キャンパスの整備について報告。坂光司樹徳会理事長がホームページリニューアルを機に、樹徳会の組織強化・充実に力を入れていることを紹介。さらに伊藤駿久校友

康氏が来年(平成十五年)、
1月からNHKで放送予定
の大河ドラマ「八重の桜」
にちなんで「八重と新島襄」
(同志社建学精神の原点を)
さぐる」と題して講演した
保阪氏は同志社文学部

校友会京都支部定時総会

ドラマは、激動の時代と歴史の中に生きた八重が、新島がスケール大きく語られるのではないか」と期待しつつ講演を締めくくった。休憩の後、長江秀辰常任略）

【校友会】野中隆臣福岡支部副支部長

【会員】児島廣事（昭和32年卒）、坂上達郎（33年）、岩井美廣（38年）、梶栗忠雄（39年）、延寿寺稔隆（44年）、有川勝彦（47年）、高田訓（48年）、笠田紳一（48年）、徳丸憲一（50年）、中村隆義（56年）、占部輝次（56年）、葛行博（56年）、小嶋良一（60年）、山土裕治（62年）、内藤真一（63年）、藤浩士（平成3年）、森下剛靖（4年）、西田賛介（8年）、益満知典（11年）、西島創作（12年）、林良三（14年）、石本加奈（15年）、大阪・平川敦士

【樹徳会】坂光司、南美知支部長

【校友会】伊藤範久（愛

躍進ぶりが自覚ましい母・同志社の話題や、久しぶりに出会う旧友らとの近い報告、消息など酒の肴、歓談の輪を広げた。

この間、舞台では新人へ員の紹介や、旅行券や高洋酒、化粧品など高級商が当たるお楽しみビンゴ、一分が繰り広げられ、会は笑いと拍手で一段と盛上がりを見せた。

そして宴の最後は、出席者全員が肩を寄せ合い、並んでカレッジソング（昭和36年卒）が閉宴の高唱、その後、同志社子で締め、森田好博常任幹（昭和36年卒）が閉宴のいさつをした。

出席の来賓のみなさん、次の方々（順不同、敬称略）

【大学】鵜飼哲夫（学部長代理）

【樹徳会】坂光司（理事長）、人見昭吾（常務理事）、井村紀之（理事）、小栗樹（事務長）

【校友会】伊藤範久（愛

支部定期総会

大學長が、それで躍進する同志社の近況、とりわけキャンパスの整備で変わる今出川キャンパスなどの現

況を報告し、祝辞とした。岡野久二前京都支部長の乾杯の音頭で宴が幕を開け、出席の各会員らはテーブルに運ばれる料理に舌つみを打ちながら会話を楽しみ、久しぶりに会う旧友らと近況や消息を通じ、旧交を温め和やかな雰囲気を楽しんでいた。

宴もたけなわなごと、佐野理事長の呼びかけで、壇上には来賓の諸先生、常任理事の坂光司氏（樹徳会理事長）、同南美樹氏（同副理事長）らが肩を並べ、京都校友会の団結力をアピール（写真）。大きな歓声と拍手を浴びていた。最後は應援團の学生によるリードでカレッジソングを高唱し、お開きとした。

次いで平成二十三年度の事業・決算並びに会計監査報告、二十四年度の事業計画・予算案など、提案の全議案を出席者の拍手の中で承認した。

濱直樹常任理事の司会で懇親会に移り、来賓の学校法人・大谷實総長、学校法人人理事長・八田英二同志社



一堂に会した雄志会の面々

年十一月三日（祝）

十一月三日(祝)
日・土曜日)
に西口ゼミ開
講五十周年記
念パーティー
を新島会館・
(寺町丸太町
上る東側)に
て開催いたし
ますので、雄
志会(西口ゼ
ミ)のOBの
方々の積極的
なご参加をお
待ちしております。
お問い合わせ
せは、事務局
・〇七五一一
二三一三六三
六 竹仲会計
事務所内

進志会OB会開催



加賀院一郎
（記）井村 純一
スメールの録音や、恩師へ
感謝と懐ふ想いの溢れる

夏本番を思わせる五月十九日、吉武孝祐先生の十七回忌の「墓参」と「若竹会総会・吉武孝祐先生を偲ぶ会」写真会の式典が挙行された。同志社墓地へは、三十一名が参列し、墓前清掃、黙祷を捧げた後、一人ずつ深紅のバラを献花し、カレッジングの斎唱で締めくくった。その後、場所を新島会館に移し、六十六名の出席者のもと「総会と懐ふ会」が開かれた。

小澤淳二会長の「若竹会が今日このようにあるのは、先生のご遺徳だ他ならない」との開会挨拶に続き

黙祷、先生の奥様から若竹

会員に向けた手紙の披

露、奥様への返礼のウォイ

スメールの録音や、恩師へ

感謝と懐ふ想いの溢れる

スピーチが続き、途切れることはない。事務局は、若竹会三新文

会・吉武先生を偲ぶ会

総会と懐ふ会

を立ち上げるのに加えて、吉武先生誕百

年（二〇一八年）を次期目標

とする事業構想を発表

した。また、今

回で四十六

期目になる

小澤淳二会長は退任し

相談役に就

任。後に

崎本哲生さん

が満場一致で承認され、若返りを図った。

中には樹徳会員で名簿

を購入するためお金を支払

った人もいた。

同志社大学ではホームページ

で、本学とほがきの送り先

「学芸出版（株）」とは全

く関係なく、制作に関し

ても一切協力をしております

せんとした上で「名簿を返

し、はがきを返送したり、

名簿代金振り込みぬよう

呼び掛けている。

今年も夏休みが近づいて

きました。夏休み中のゼミ

強とスポーツ、夜は飲み会

など様々な活動があります。

中でできなくなったり、ご飯

もおいしく食べられなくな

ります。そのような状況が続

けます。幸せを感じることはな

かなかできないでしよう

。精神的な病気を患って

しまうこともあるようで

、それが原因で、幸せを感じ

ることはできないでしよう

。しかし誰に頼むのか、親に

頼むのか、それとも他人の

お世話です。しかし誰に頼むのかは大きな意思決定

です。頼まれる方はとても

大変だからです。嫁に頼む

くうえで必要な知識や知恵

が多いので病気や老化のこ

とを考えても、自分には当

然とでも教えるといいかも

しれませんし、若いちは

世界の中をサバイバルしてい

ます。そういう外国で暮

らす方法なども「サバイバ

ル科」で教さてもいいかも

だと思います。学生たちのメ

モリを高めながら語り合いま

す。そしてたいていの場合、

そこなってから慌てて対策

を考ふることが多いようで

始まります。学生たちのメ

モリを高めながら語り合いま

す。そしてたいていの場合、

そこなってから慌てて対策

を考ふることが多いようで

始まります。学生たちのメ

モリを高めながら語り合いま

す。そしてたいていの場合、

そこなってから慌てて対策

を考ふるが多いようで

始まります。学生たちのメ

モリを高めながら語り合いま

す。そしてたいていの場合、

キャンパス整備事業、来秋完成へ

同志社大学の今出川と烏丸二つのキャンパス整備事業が最終段階に入り、新棟建設工事を中心に事業は急ピッチで進められている。今出川キャンパスの整備事業は二〇一三(平成二十五)年十月に、また烏丸キャンパスは今秋二〇一二年十月にそれぞれ完了・竣工が予定されている。今出川を拠点とする今回の整備事業は、学部教育を中心としたもので、これまでのところは、新棟建設工事によって来春(平成二十五)四月には今出川校地は八学部十研究科に編成され、現在、京田辺キャンパスで学生系の一・二年次生も今出川に移動することになる。今出川、烏丸両キャンパスの柱ともなる新棟の名前も先づ決まり、よい整備事業は大詫びを迎えている。同志社建学ルネサンス」と呼ばれる二つのキャンパス整備事業にスポットをあてた。

同志社大学の今出川と烏丸二つのキャンパス整備事業が最終段階に入り、新棟建設工事を中心に事業は急ピッチで進められている。今出川キャンパスの整備事業は二〇一三(平成二十五)年十月に、また烏丸キャンパスは今秋二〇一二年十月にそれぞれ完了・竣工が予定されている。今出川を拠点とする今回の整備事業は、学部教育を中心としたもので、これまでのところは、新棟建設工事によって来春(平成二十五)四月には今出川校地は八学部十研究科に編成され、現在、京田辺キャンパスで学生系の一・二年次生も今出川に移動することになる。今出川、烏丸両キャンパスの柱ともなる新棟の名前も先づ決まり、よい整備事業は大詫びを迎えている。同志社建学ルネサンス」と呼ばれる二つのキャンパス整備事業にスポットをあてた。

【烏丸キャンパス】

元京都市の産業技術研究所所織維技術センターの用地で、二〇一一年七月に各種工事が始まり、建築中の新棟は地下一階、地上三階、延べ床面積約一六、八〇〇

坪。ここに今出川キャンパスの「良心館」同様に教室、研究室、学生の自習室、福利厚生施設のほか、ラーニング・スタジオが設置される。

校舎名は「志高館」とい

う。新島襄の高い志から誕

生した同志社は「志を同じくする者が集まって創る結

社」の意味があり、「志」

がキーワード。しかも新島

【今出川キャンパス】

二〇一〇年八月から始まつた今出川キャンパスの工事では、中学校移転後の用地に新校舎の建築が進む。

地下二階、地上五階、建

築面積約八、〇〇〇坪、延べ

床面積約四〇、〇〇〇坪、

教室のほか研究室、ラーニ

ング・コモンズ、福利厚生

施設などが入る。

建物の名は「良心館」。

由来は新島襄の「同志社大

学設立の旨意」(一八八

年十一月)の中で「一国

の良心とも謂うべき人々を養

成せん」「良心の全身に充

分を設ける。

満したる丈夫の…」と述べ、同志社が一貫して継承して

いる良教育から名付けた。

この「良心館」と並行し

て既存の建物との効率的活

用のための整備も行われ、

市営地下鉄今出川駅北改札

口と良心館の接続通路を

設けて、通学学生数の増加

に備える。校舎全体はもち

る同志社の重要な文化財施

設との調和を図るデザイン

が継承され、景観保全には

特別な配慮がなされる。ま

た、烏丸通と大学との境界

には從来の高い石屏から、

沿道からもキャンパス内部

を見通せる低い緑格子フェ

ンスを設ける。

の『同志社大学設立ラボラトリー』には「人生ノ志操ヲ高尚ニシ」の言葉もあり、これにちなんで命名された。この建物も地域の環境保全に配慮され、建物内

部にはサンクンガーデンも設けられ、周辺住民にも利

用してもらうよう今、検討

がなされている。

このキャンパスは、総合政策科学研究科とグローバル・スタディーズ研究科、国際教育インスティテュート、それに二〇一三年四月に開設予定のグローバル地域文化学部の拠点になり、同志社大学の「国際主義」を象徴するキャンパスとなる。

午前十時から午後四時三十

分まで、京都市上京区の今出川キャンパス新棟建設工事

一一〇一二年ホームカミングデー

十一月十一日(開催)

商学部出身OBの活躍

は芦屋大学特任教授に就

任。さらに七月一日付で

同志社大学商学部を卒業

校長にも就任した。京

都市出身。昭和五十九年、

芦屋学園中学校・高等学

校長にも就任した。

同志社創立二三七周年記念ReUnion―同志社大学

「ホームカミングデー」(日)

一二が十一月十一日(日)

午前十時から午後四時三十

分まで、京都市上京区の今

出川キャンパスを由心に開

かれる。昨年は継ぎ今年も

ホームカミングデー実行委

員会が今、精力的に企画な

どの準備作業を進めていく。

今年のテーマは「ALL

DOSHISHA 在校生×卒業

生一世を超えてつながる

新しいHCD(ホームカミ

ングデー)。今年はまた十

日(土)に同窓会初の前夜

祭も予定されており、これ

までとほひと味もあた味も

違う中身の濃いイベントが

楽しめそうだ。

特別企画として「OB・

OG訪問inキャンパス」コ

ーナーが登場。就職に関する質問などに社会人の先輩

が対応するプログラムやス

ポーツで繋がる同志社の話

題、ほかに子供と大学生が

触れ合うコーナー、学生ゼ

ミ・サークルによる展示、

物販などもある。また昨年

好評だった「紫熱(はぐね

つ)教室」も開設する。

恒例のプログラムでは、

開会式(今年は女子大の栄

光館が会場)、大集合写真

撮影、應援團による演舞・

演奏、卒業生交流レセプシ

ョン、礼拝堂、クラーク記

念館などの施設公開、野点、

新島旧邸見学バスツアー、

ホームカミングデー音楽祭

(寒梅館)、校友会支部な

どによる物産展などがいつ

ものように会場を彩る。ま

た、烏丸通と大学との境界

には從来の高い石屏から、

沿道からもキャンパス内部

を見通せる低い緑格子フェ

ンスを設ける。

この催しは、同志社大学

(法学部、四年次生)、稻

谷(文学部、四年次生)、

住野公彦さん(政策学部、

二年次生)、木村英司さん

(法医学部、四年次生)、稻

谷(生物学部、四年次生)、

小林(生物学部、四年次生)、

吉田(生物学部、四年次生)、

山本(生物学部、四年次生)、

西澤(生物学部、四年次生)、

井上(生物学部、四年次生)、

佐藤(生物学部、四年次生)、

西澤(生物学部、四年次生)、

西澤(生物学部、四年次生)、